

平成19年10月

中津港自動車専用船入港に伴う船舶航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、全長200m（60,000GT級）外航自動車専用船が喫水9m以下の状態を対象に、入出港、着離岸および係留等の安全性について検討した。

入出港および着離岸操船については、ファストタイム操船シミュレーション手法を用いて検討し、回頭操船においては、一部リアルタイム操船シミュレーションによる検証も加えた。係留については、OCIMF提唱の計算手法を用いて係留力と外力影響を検討し推奨する係留方法を示した。

これらの検討結果を踏まえて、入出港操船に必要な操船目標の整備や基本的な指針となる入出港基準を含む航行安全対策を取りまとめた。

また、航路整備中における60,000GT級外航自動車専用船（全長200m以下）の航行安全対策についても調査検討を行った。

この報告書は、幅員230m水深11mの航路整備が完了するまでの間の航行安全対策について取りまとめたものであり、整備完了後における喫水9mを超える船舶や全長200mを超える自動車専用船等の受け入れについては、別途検討するよう提言した。

2 調査等概要

- (1) 調査概要
- (2) 外航自動車船受け入れ計画
- (3) 航行環境
- (4) 入出港操船に関する基礎検討
- (5) ファストタイム操船シミュレーションによる入出港操船の検討
- (6) 係留、余裕水深等の検討
- (7) 自動車専用船の航行安全対策
- (8) 航路整備における航行安全対策の検討.